



(株)ファミリーマート 代表取締役会長

## 上田 準二

### 秋田に「元気」「勇氣」「夢」を！

秋田県JAグループの皆さんこんにちは。日頃より、秋田県の農業の発展と組合員の生活向上のために頑張っていることと思います。

私は横手市大森町出身で、山と川、そして田んぼに囲まれた自然で育ちました。故郷を離れてからの私の国内外でのビジネススマンとしての世界を振り返ってみますと、秋田県人としてのDNAが大きくな支えになっていたような気がします。

秋田は初雪が降ってから長い長い冬が続きます。その間、ずいっと閉じ込められ

たような世界の中、辛抱強く花が咲き乱れる春まで耐えなければなりません。

でも、何もしないで黙っているわけではありませぬ。子どもたちはスキーや雪スケート、雪上相撲(今の子どもはやってないでしょうね)、雪下ろしの手伝い、その雪を掘つてのまくら遊び、また、時間がある冬だからこそ普段よりは集中した勉強(だから秋田の学力が全国一なのか)。大人たちは寒い冬の間田んぼや果樹畑へ櫛(かじり)で堆肥を撒きに行ったり、冬の間こそ準備し鍛えておくことが多くあ

りました。

それが私の育った原風景ともいえません。そういった環境で育ち、知らず知らずにも我慢・辛抱、そして困難にぶつかっても「必ず春の花が咲く時が来る」といった様な心の持ち方が身についていたように思います。また、東北人は無口でおとなしく引つ込み思案、どちらかと言うと目立たないと言われます。私もそんなイメージから秋田生まれと言うと「え、あなたが秋田？」と良く言われます。そうじゃないですよ。長い冬があるからこそ、秋田の風土で育つたからこそ、逆にその裏返しで秋田県人は人一倍明るく生きようとします。何よりも民謡を聞けば分かるじゃないですか。秋田の民謡は全国的にみても一番元気で明るく浪々としています。

でも、秋田は経済という面ではちょっと内弁慶のように見えます。優れた観光資源や農水産物がたくさんあるのに自給自足の国であるが故か、県外へのPR、あるいは県外からの人の流入が少ないように思えます。秋田のリングゴ、サクランボ、ハタタ、ボタッコ、マツモ、ギバサ、山内のいぶりがっこ、浅舞の漬物・キザミとカンナ昆布、それにお米と酒、また観光では白神山地や土地土地の温泉郷等々数え上げたらきりがありません。

私の家内は大阪生まれですが秋田の実家から届く農水産品を「すごい、すごい」と、心から楽しんでます。最近、首都圏のスーパーでも秋田県産品が出回り始めました。嬉しくて多少高くても選んで

買っています。

今「TPP」交渉において、日本農業の課題が議論されていますが、日本の農水産品は世界一の安全・安心・高品質を誇っています。アジア新興国の経済発展と共にその国々の消費活動も高度化し日本商品に対するニーズが高まっています。

ファミリーマートは日本をはじめ、アジアを中心に米国も含め9地域に出店しておりますが、総店舗数約23,000店舗の内、約13,000店舗が海外の店舗であり、既に国内の店舗数を上回っています。今後、大手チェーンの中で唯一の日本発祥のコンビニエンスストアとして、海外のファミリーマート店舗で秋田の素晴らしい観光資源のPRや農産物などを売って行きたいと考えています。私も秋田の皆さまと一緒に「元気」「勇氣」「夢」を持って頑張っていきたいと思っています。

さう、冬です、皆さま、風邪などひかれず秋田に元気を！



●うえだ・じゅんじ

1946年12月生まれ。横手市大森町出身。70年山形大学文理学部卒業、同年伊藤忠商事入社、90年シーアイチケン取締役、92年伊藤忠フーズ常務取締役、94年伊藤忠商事畜産部長、97年プリマム取締役、99年伊藤忠商事食料部門長補佐(兼)CVS事業部長、00年ファミリーマート執行役員、01年同社常務取締役、02年同社代表取締役社長、13年同社代表取締役会長。